

脆弱性「検知」から「修正 PR 作成」までを自動化 AI セキュリティソリューション「cuonology security」提供開始

攻撃への先回りに対応リードタイムの短縮で、セキュリティ運用の負荷を削減

株式会社テラスカイ
2026 年 10 月 30 日

株式会社テラスカイ(以下、「テラスカイ」)のグループ会社であり、「AI & Data Integrator」として事業を展開する株式会社 Cuon (以下「Cuon」)は、脆弱性の検知から修正プルリクエスト(PR)の生成までを自動化する AI セキュリティソリューション「cuonology security(クオノロジー・セキュリティ)」を、2026 年 12 月より提供開始いたします。

本ソリューションは脆弱性「検知」から修正 PR の作成まで自動的に対応することで、セキュリティ運用の負荷を削減します。中堅企業から大企業の情報システム部門をはじめ、クライアントの運用支援を行うセキュリティコンサルティング会社までを対象とし、AWS 環境を基盤として提供します。提供形態は、年間契約+サポート契約(対象リポジトリ単位の課金)を基本とし、複数の AWS アカウントを横断する組織向けの機能はオプションとして提供します。

【背景】

生成 AI の普及に伴い、公開コード・インフラ設定・公開資産の自動走査・解析が容易となり、脆弱性の公開から攻撃着手までの期間は数日単位から数時間単位へと短縮されています。このためサイバー攻撃は件数を増し、企業規模や知名度を問わずあらゆるシステムが日常的に脅威へさらされる環境となっています。

一方で防御する企業の現場では、セキュリティログや脆弱性情報の確認・トリアージ、修正コードの作成作業はまだ人手に依存している部分が多く、対応スピードの限界が顕在化しています。

単なるアラートの検出にとどまらず、検知から修正・検証までのリードタイムの短縮が重要となっているなか、Cuon では自社開発環境での運用成果をもとに、能動的な検査から修正 PR 作成までを自動化する本ソリューションの開発に至りました。

【主な特長】

1. 動的検査から「修正 PR 作成」まで一連の対応を自動化

年数回の定期外部診断に依存せず、攻撃者視点の動的検査(DAST)を自社環境内で継続的に実行します。攻撃を受ける前に潜在リスクを検出し、課題起票から修正 PR の生成(開発基盤 cuonology engineering との連携)までを自動で処理します。

これによりパッチ適用までのリードタイムを大幅に短縮するとともに、セキュリティ担当者はコードレビューと最終承認に注力できる環境を実現します。

2. 決定論的処理と LLM の分離による「監査可能な自動化」

検知データの取得・振り分け・抑制・検証はルールベースの決定論的スクリプトが担い、LLM は優先度の判断と Issue 本文の生成に限定しています(修正コードの生成は開発基盤 cuonology engineering が担います)。LLM の判断とその根拠は Issue 本文と AWS 側の検知結果(finding)に記録されるため、AI 処理のブラックボックス化を防ぎ、エンタープライズ企業の社内統制や第三者監査に耐えうる運用を実現します。

3. 顧客の環境内で完結する安全なデータ設計

システムは、顧客自身の AWS・GitHub 環境内で稼働します。ソースコードや脆弱性の検知結果(finding)が、外部サーバーへ転送・蓄積されることはありません。

【提供形態】

cuonology security の提供形態は以下の通りです。詳細は別途お問い合わせください。

形態	内容
年間契約+サポート 契約(リポジトリ課金・基本)	対象リポジトリ単位のライセンス。契約期間中の更新バージョンの提供とサポート対応が含まれます。契約期間中に提供されたバージョンは、期間後も継続してご利用いただけます(fallback license)。メジャーバージョン(1.x)間のパッチはサポート契約者に提供します。
組織向けオプション (組織横断トリアージ・ログ監査)	AWS のマルチアカウント環境で、監査用アカウント・セキュリティログの集約基盤・CI 実行用の IAM ロールを備えた環境向け(Cuon が管理する AWS 環境、または同等の構成が前提)。組織に帰属する検知結果の安全網トリアージと、ログ監査を追加します。
導入支援(オプション)	現状診断、検知源(AWS のセキュリティ検知・ログ集約サービス)の有効化設計、トリアージ運用の立ち上げ、開発連携(cuonology engineering)の構築を支援します。

※対応環境: AWS のセキュリティ検知サービス(検知結果の集約、脅威検知、脆弱性検査)+ GitHub(Actions / OIDC)。組織向けオプションはこれに加えて、マルチアカウント環境の監査用アカウント、権限分析、セキュリティログの集約基盤が必要です。実行には Python 3.9 以上と AWS SDK、DAST には Docker(動的検査ツール ZAP / Nuclei の公式イメージ)が必要です。AWS と GitHub への接続を前提とするため、外部通信を遮断した閉域環境では動作しません(通信先の一覧を公開し、許可リスト運用に対応)。詳細はお問い合わせください。

【代表者コメント】

「生成 AI の進化により、サイバー攻撃のスピードはかつてないほど加速しています。『cuonology security』は、脆弱性の検知から修正 PR の作成までを自動化することで、限られた人的リソースで攻撃者のスピードに対抗できるセキュリティ運用体制の構築を支援します。確実性が求められる処理の実行を決定論的スクリプトに委ね、LLM の役割を判断の支援に限定することで、運用の自動化と厳格な社内統制・監査への準拠を両立しました。これからも自社環境での実践を通じて得た知見をもとに、顧客企業のセキュアなシステム運用に貢献してまいります」

株式会社 Cuon 代表取締役 森本 優

本サービスの詳細は、下記ページをご覧ください。

<https://www.cuon.co.jp/security>

株式会社 Cuon について

Cuon は 2010 年の創業以来、日本発のプログラミング言語 Ruby を活用した顧客向け Web サービスを開発する技術者集団です。創業期より多くのスタートアップやお客様の新事業を、最先端のプログラミング技術をもとに実現することでご支援してまいりました。また 2019 年よりテラスカイグループに参画し、プログラミング言語のみならず Salesforce 製品をはじめとするクラウドサービスと組み合わせたシステムの開発・提供を行っております。お客様のビジネスモデル・収益計画・販売戦略を加速し、かつコストをできるだけ見える化するためのシステム・デザイン・実装・運用ノウハウをお客様システムに注ぎ込みます。

- ・所在地: 東京都中央区日本橋 2-11-2 太陽生命日本橋ビル 15 階
- ・設立: 2010 年 1 月
- ・資本金: 1,000 万円
- ・代表者: 代表取締役 森本 優
- ・URL: <https://www.cuon.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 Cuon

所在地: 東京都中央区日本橋 2-11-2 太陽生命日本橋ビル 15 階

TEL: 03-5577-4405

URL: <https://www.cuon.co.jp/contact>

※本リリース記載の数値・バージョンは 2026 年 10 月 27 日時点の実装に基づきます。

※本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。